

## ヤビキ沢遡行報告

【日時】 7月3日(火)～7月4日(水)

【天候】 7月3日(火)晴れ、7月4日(水)曇りのち雨

【行程】 7/3 検見川浜→小田急線新松田駅→西丹沢ビジターセンターBS  
7/4 テント場→つつじ新道→ゴーラ沢出会→ヤビキ沢→テシロノ頭  
→ヤビキ沢→ゴーラ沢→つつじ新道→西丹沢ビジターセンター  
→帰葉

【参加メンバー】 小俣(CL)、飯田(記録)

【内容】まだ陽の高い時間に検見川浜駅を出て新松田駅に到着したのが17:30。  
西丹沢ビジターセンター行きの最終バスに乗り、到着したのは19時少し前で、陽が沈む前にテン場予定地まで急いだ。

テン場に到着するとテントを張り、さっそく食事の用意にとりかかる。川のせせらぎと澄んだ空気の調味料がちょっとプラスされたからか、簡単な食事も贅沢なものとなり、お酒をチビチビやりながらよもやま話に花を咲かせたところで1日目は終了。

翌朝、外を覗いてみると天気予報どおりの曇り空だ。午前中天気はもつという予報だけれども……。朝食は小俣さんに作っていただき、腹ごしらえをした後に沢装備を身に付けて出発。

つつじ新道をしばらく進みゴーラ沢の出会いから入溪。ゴーラ沢と言うけれど、ゴーロ沢と言った方がしっくりくるような場所で、大きな石がゴロゴロしていて歩きづらい。自分はゴーロを歩くのは苦手です。



10分ほど歩くと堰堤に辿り着いた。2つ続く堰堤を右に巻けば本格的に遡行の開始だ。ガイド本には堰堤を右から巻くとあるのだけれど、ピンクテープはおろか、踏み後らしきものはなく、上へ上へと登ったところ下降するには難しくなってしまう、結局スタート地点付近まで逆戻り。灯台下暗しとはよく言ったもので、あるじゃないですか、薄いけど踏み後が。あっさり堰堤を2つ超えて遡行開始。



しばらくの間ゴーロ帯を歩いていると出てきました。西丹沢でも屈指の美しさを誇るナメが。晴れていれば気分も盛り上がるのですが、晴れるどころか雨が降り出しちょっと残念。長いナメはテクニカルな所は無く、晴れていれば楽しさ倍増は間違いなしです。



1 時間ほど遡行してあっという間に終了点の二股に到着しところで雨風がひどくなってしまい、地図読みの練習を兼ねて二俣から中間尾根まで登り、尾根を下ってゴーラ沢に出る予定だったが、変更して沢を下降することにした。



下界に降りると曇ってはいるものの雨が降った形跡はなく、千葉に戻れば青空で、まったく「なんでやねん!？」な山行でした。  
後で聞いたところ雨が降ったのは丹沢方面だけだったようで、運がなかったです。

記録：いいだ

